



先月すっかり書き忘れていた「面白い話」があるんです。先月31日の「手話講座」。いつも取材に来られるキャミアック高校の井上先生が来られたんです。彼、アメリカでASL (American Sign Language) を1年ほど習ってらっしゃったそうで、それで講師の岩本さんと会話を試みたところ、岩本さんもそれを理解され、(普段とは違う) ASLで返事をなされたんです。驚いて目を真ん丸になさりながら。

あるクラスでは、「手話は日本と外国とで違うんですか?」という質問があったようです。国により、言語により手話は異なるのですが、ボディランゲージを基本にした部分が多いので、比較的通じやすいのだそうです。今回はそんなひとコマを目にし、とても「勉強」になりました。1年生の皆さんの感想はすべて、岩本さんに届きました。みんな、丁寧に書いてくれて、ありがとう。



国内留学 in Yamanashi !

11月20日(日)~23日(水)の3泊4日の日程で、「国内留学」が行われました。コロナ禍で海外への留学がまだまだ難しい中、昨年度に続いての行事です。

場所は、山梨県河口湖畔の大学施設。1、2年生合計5名(普通科・国際総合科)の生徒が参加し、完全英語オンリーの生活を送りました。生徒の感想を含め、詳細は次号で報告します!



神戸大学教授、特別講義！

11月2日（水）6時間目、夏の1年生に続き、2年生国際総合科に神戸大学のマシュー先生ROOKS John Matthewを迎え、特別講義を実施していただきました。短い時間ではありましたが、前回同様、英語を学習する意義やポイントなどについて教えていただき、生徒たちにとっても非常に意義深い時間となったようでした。



各種コンテスト

11月19日（土）、県立明石北高等学校（朔風会館）で行われた**兵庫県高校生英文エッセーコンテスト**に、国際総合科の1年生3名、2年生1名が予選を経て出場。また、23日（水・祝）にホテル北野プラザ六甲荘にて行われた**神戸日米協会第30回高校生英語暗誦大会**の予備選考会には、同じく国際総合科の1年生1名が出場しました。こちらは、「単に英語の文章を暗記し上手く発表することだけが目的ではなく、暗誦大会の機会を通してアメリカの歴史や文化、またアメリカ人の考え方等を理解いただくこと」に目標を持たせた大会だそうです。



今後も生徒諸君の活躍が楽しみです！

*** *** *** *** ***

11月は古典では「霜月しもつき」と呼ばれます。「霜降月しもふりつき」が省略されたとされますが、寒い季節をわかりやすく表した月名ですね（旧暦の「霜月」・11月は、凡そ現在の12月に相当）。

英語での11月・Novemberは、実は「9番目の月」。ラテン語で「9番目」を意味する *novem* の語に由来します。現在の月順（1～12月）とズレているのは、西洋文明の源：ローマの時代に、現在の3月（春）に始まり12月に終わり、現在の1、2月の期間は1年に含まない10カ月の暦→1年に含まなかった2カ月分の時期に月名を付けて（英語月名の January、February）加えた暦→現在の1月（=January）の時期に始まり12月の時期（=元は「第10の」月=英語月名 December）に終了する暦、と変遷したからです。

ちなみに、現在の英語の月名のうち1～6月（January～June）はローマ（←ギリシア）の神々の名、7、8月（July、August）はローマの偉人（シーザーことユリウス=カエサル、初代皇帝アウグストゥス）の名です（9～12月は「7番目」～「10番目」の月）。

月の名前に限らず、昔から続く事柄の名称は、掘ってみれば自然環境や文化・歴史などと結び付き、「なるほど！」と感心するものが多いです。「なぜだろう？」と興味や違和感を感じたら、探究してみましょう。そのちょっとした好奇心を行動に移す姿勢が大切です。

〔国際・探究推進部長 田尻 淳〕

tagebuch im ausland studieren

『独日 留学日乗』

ドイツからの留学生・小林克海セドリックさんにとっては、毎日が目新しいことだらけの様子。毎日英語の「日誌」を提出してくれているのですが、その中からトピックスを紹介します。

留学当初のつぶやきの中には、「日本の高校生の制服がかっこいい」という記述が。ドイツには制服文化は無いので、斬新に映ったようです。

イラストは、クラスメイトのA・Mさんです。

